

平和のバトンをつなぐ

～ 戦争経験者から継承する、忘れてはいけないこと ～

☎生涯学習課人権・同和教育係 ☎ 0943-32-0093

被爆者として語り継ぐべき事

昭和20年8月9日、当時6歳だった八木道子さんは、長崎市鳴滝町の自宅で被爆しました。自宅にいたと飛行機の音が聞こえ、日本の飛行機だと思った八木さんは、2階に駆け上がり手を振りました。「がんばれ」の「が」を口にしたその時でした。強烈な閃光が走り、ドーンという爆音と同時に強い衝撃で体が持ち上がります。とつさに伏せましたが、爆心地から約3・3キロ離れている家の中を爆風が吹き抜けました。外に出ると、自宅や周りの家の瓦が飛んで傾き「家が裸になっている」と思うほどでした。朝からうるさかったセミの鳴き声はピタリとやみ、空は真っ暗。怖くなり、すぐに防空壕へ避難しましたが、そこには髪が抜け、出血した人であふれていました。戦後、八木さんは両親と同じ教師の道に進みます。最後の勤務地は、児童1400人以上が犠牲となった長崎市立城山小学校。退職するとき、

先輩から「教員に退職はあるけれど、被爆者に退職はない。今から話をしていかんば」と言葉をかけられ、語り部として第二の人生が始まりました。現在、長崎平和推進協会では語り部を務める八木さん。自身の被爆体験から「長崎最後の被爆地にしなければならぬ」という強い思いのもと、全国各地で戦争の悲惨さを伝える活動を行っています。12月13日(土)の「人権を考えるひろかわセミナー」にも登壇します。直接生の声を聴いてみてください。

平和への誓い（一部抜粋）

いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。同じ過ちを繰り返さないために、多くの人が事実を知る必要があります。原子爆弾が投下されたあの日のことを、思い浮かべたことはありますか。昭和20年8月6日、午前8時15分。この広島に人類初の原子爆弾が投下され、一瞬にして当たり前の日常が消えました。誰なのか分からないくらい皮膚がただれた人々。涙とともに止まらない、絶望の声。一発の原子爆弾は、多くの命を奪い、人々の人生を変えたのです。被爆から80年が経つ今、本当は辛くて、思い出したくない記憶を伝えてくださる被爆者の方々から、直接話を聞く機会は少なくなっています。どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。

～中略～

あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないために、私たちが、被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人ひとりの声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。

令和7年（2025年）8月6日

こども代表

広島市立皆実小学校 6年 関口 千恵璃

広島市立祇園小学校 6年 佐々木 駿

▼人権を考えるひろかわセミナー

① 11月5日(水)「子どもとメディアの関わり方」
講師：黒田可奈子さん [NPO 法人子どもとメディア]

② 11月27日(水)「障がいと理由とする差別の解消に向けて」
講師：原忠昭さん [福岡県福祉労働部障がい福祉課]

③ 12月13日(土)「平和のバトンタッチ」
講師：八木道子さん [長崎平和推進協会語り部]

[時間] ①② 19:00～20:30、③ 14:00～15:30
[場所] 保健・福祉センター「はなやぎの里」3階多目的ホール

▼ひろかわ人権フェスタ【人権講演会】

演題：「野球人生を通して」
講師：川崎宗則さん [野球選手]
[日時] 12月21日(日)、15:00～16:30
[場所] 中広川小学校体育館

ホットな消費者 News

消費者問題の事例対処法を解説します。

電話や訪問による分電盤の点検商法にご注意

電力会社を名乗る業者から、電話で分電盤の点検をすすめられた。業者が訪問して点検したところ、「すぐに交換しなければ漏電して火事になる」と言われた。これまでトラブルはなかったが、何十年も交換していなかったため不安になり、信用して約15万円を交換工事を契約し、前金を支払った。後日、知人にこの話をすると、高額すぎると言われ不安になったが、工事の中止や契約解除はできるのだろうか。

対処法・アドバイス

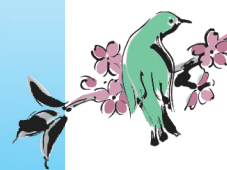
- 訪問販売に該当する場合は、契約書面を受け取った日から8日以内であればクーリング・オフで契約を解除できる場合があります。すぐに消費生活センターなどに相談しましょう。
- 家庭用の分電盤を含む電気設備の点検は、電力会社によって4年に1回の法定点検が義務付けられています。法定点検の場合は、必ず事前に書面で通知があり、登録調査機関の調査員証を携帯した調査員が訪問します。点検後にその場で何らかの契約を勧誘することはありません。
- 分電盤に限らず、点検を持ちかけてくる電話や訪問には注意しましょう。

お問い合わせ

消費者ホットライン ☎ 188 久留米市消費生活センター ☎ 0942-30-7700 福岡県警察 ☎ 110 または # 9110

広川文芸

ひろかわ俳句会



あさひあびまつ赤にばえるまんじゅしやげ
帰り道寂しき夜も月と在り
さあ乗って吾をいざなふ秋の雲
彼岸会の手作りおはぎあたかし
秋の夕散歩の歩数伸ばしをり
蟋蟀の鳴く音につられリズムとり
風そよぎ庭のうつろふ今朝の秋
鶏頭や胸の炎を塞ぎ止む
藪の中ひよいと顔だす紅かぼちゃ
饒舌や政治経済秋夜長
海荒し孤島を覆ふ真葛原

坂田 康治
西村智佳子
青木佳代子
結束 節子
酒井 司
渡辺 弘子
一瀬砂智子
溝田 幸
原口 正信
原口あつ美
水本 艶子

櫻の会

頭上より人より太き蟬の声負けてはならじと伸びし草引く
訪なひし記憶を辿り被災地のニュースに見入る吾が事として
夏休み馬頭琴に初チャレンジモンゴルの響き草原を翔ける
日の本の国の歩みを知ればこそ戦もどきはなんとおろかし
幼子の一人歩きを笑む様に吾の歩みをひとり笑みある
うぐいすの初音聞こゆる山側のショートステイの部屋はうるはし
海のやうな君の瞳に飛び込んですべて飲み干し棲みかにするね
頑張ろう努力の成果すこしずつ汗の分だけアタックきめる
ふと風の匂ひが色を変へにけり遥かにつづく行き合ひの道

一瀬砂智子
中倉 明美
瀧武美智子
山崎美代子
細川 徳子
小西 俊都
丸山 雪乃
広瀬 花恵
青木佳代子

ふるさと 再発見

広川町郷土史研究会

広川町にある巨樹・珍樹 その15

シダレザクラ (バラ科)

樹高 約7メートル

幹周 1・92メートル

推定樹齢 約1000年

浄徳寺(六田区)境内に在る木が、群を抜く大きさです。

エドヒガンザクラの一変種であると考えられます。

近隣の真宗寺院にもシダレザクラがありますが、京都の本山から持ち帰った苗が植えられたとのことです。

「寺社并古城古墳等書付」(寛永2年・1749年)によ

ると、浄徳寺は「永正10年(1513年)元祖道専、

東本願寺より弥陀絵像頂戴、草庵に安置仕り、三世善賢、

元和2年(1616年)3間に6間の茅葺の堂を建立

(中略)延宝元年(1673年)5間に5間半礎茅葺堂再

興仕候、」とあります。このことから浄徳寺の開創から、

276年の歴史があることがわかります。

浄徳寺境内に聳えるチシヤノキについては、当連載その

2で紹介しています。そのほか春に見事な花を咲

かす、ヤエザクラ(八重桜)

の古木を含め、浄徳寺境内には3本の特筆すべき樹木があります。

ナギ (イヌマキ科)

樹高 約10メートル

幹周 0・6メートル

長延区地内に在る常緑高木で、幹は直立しています。イヌマキ科に属

し、ナギには「風」の字が

当てられます。風は平穏を表

し、平和や防災の象徴とされていま

す。雌雄異株

で、葉はろう

を塗ったよう

に革質肉厚で、葉脈がはつき

りとしていま

す。1989年、平成と元

号が変わり、御大典(平成2年11月・

1990年)に際して、日



▲浄徳寺境内のシダレザクラ (六田区)



▲町内最大のナギ (長延区)

本神社本庁からナギの苗木が、全国の大小神社に頒布されたことはご記憶でしょうか。世の中の平和と安寧を願うてのことだったので。

当該木が植えられた時期は不明ですが、植栽によるもので、町内では見栄えのする樹木の一つとされています。

広川町古墳資料館だより

11月23日(日)～12月21日(日)、広川町古墳資料館で「石人山古墳・里帰り埴輪展」を開催します。石人山古墳から出土し、ほかの自治体や博物館で所蔵している埴輪などの、里帰り展となります。大型

の高床建物を表現した家形埴輪(写真右)も展示されており、古墳の重要性が再確認できます。

例年、秋に開催していた「弘化谷古墳 装飾壁画一般公開」は、来年3月に行う予定です。

